

“在来作物”の魅力とは何か？  
「生きた文化財」と呼ばれる理由とは

未来への  
種まきトーク  
in 庄内

■トークゲスト



江頭宏昌氏

(山形大学農学部准教授)

1964年北九州市生まれ。  
1990年京都大学大学院農学研究科修士課程修了。山形大学農学部准教授、山形在来作物研究会会長。だだちゃ豆や温海かぶなどの山形県内の在来作物を中心にその研究や保存活動などに積極的に取り組んでいる。



大野博氏

(育種家)

1947年秋田県生まれ。  
東京農業大学卒。遺伝育種・細胞遺伝学・進化生物学を専攻。元山形県職員。県立農業大学校教授、庄内産地研究室室長などを経て、現在は山形育種研究会会員。だだちゃ豆《尾浦》、ムラサキ《山形紫》、ストック《かがり火》などを作出。



東海林晴哉氏

(写真家)

1952年山形県遊佐町生まれ。  
測量技師として働いたのち、37歳でプロの写真家に転身、山形県の風景や風物、野菜の写真を本格的に撮り始める。『写真企画』を開業。現在、山形の在来作物やそれに関わる人々をライフワークとして撮影中。



渡辺智史氏

(映画「よみがえりのレシピ」監督)

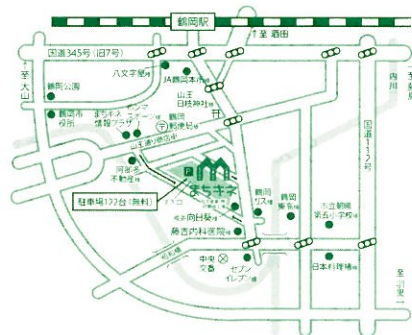
1981年山形県鶴岡市生まれ。  
東北芸術工科大学卒。映画監督の飯塚俊男氏に師事。2007年『映画の都 ふたたび』で撮影、2008年ドキュメンタリー映画『湯の里ひじおりー学校のある最後の1年』を監督。現在、やまがたの在来作物を描いた「よみがえりのレシピ」製作中。

3月19日(土) 15:00・17:00 会場 まちキネ

前売券 500円 (学生・一般共通) 当日料金: 800円

鶴岡まちなかキネマ (0235-35-1228) 八文字屋エビスヤ店 (0235-24-3022)  
みずほ八文字屋 (0234-22-3144) 出羽庄内国際村 にて取扱っております

主催: 映画「よみがえりのレシピ」制作委員会 共催: 鶴岡まちなかキネマ  
お問い合わせは 090-2975-6174 (鈴木) までお願い致します



市民  
プロデューサー  
募集中!!

映画「よみがえりのレシピ」製作にご出資いただく市民プロデューサーを募集しております。  
制作支援金として個人1口1万円、企業・団体1口3万円を1口以上ご寄付いただいた方は「市民プロデューサー」として映画の字幕にご芳名を掲載させていただきます。詳細を記載しました募集パンフレットをご用意しておりますので090-7665-6174までご連絡ください。またホームページ(<http://www.y-recipe.net>)でもご覧いただけます。

今回の「未来への種まきトーク in 庄内」は下記イベントの企画として開催いたします

地域映像フェスタ in まちキネ ~鶴岡まちなかキネマがお贈りする映像三昧の一日~

10:00~「懐かしい庄内 生活編」 13:00~「映像・まちづくりシンポジウム」 15:00~「未来への種まきトーク in 庄内」

詳細は鶴岡まちなかキネマ (☎0235-35-1228) までお問い合わせください